

冬道の安全運転 1・2・3 運動

実施期間【令和 6 年 1 2 月 1 日～令和 7 年 2 月 2 8 日】

～ 1 割のスピードダウン 2 倍の車間距離 3 分早めの出発 ～

冬道の走行は、積雪、凍結等によるスリップ事故が発生しやすくなることから、安全な速度、車間距離、早めの出発を心がけて交通事故を防止しましょう。

◇ 運転の注意事項

- **急ブレーキ、急ハンドル、急加速**はやめましょう。
急な車線変更や**急ブレーキは厳禁**。先行車との車間距離は多めにとる。発進時はアクセルをじわりと踏み込む。
- **黒く見える凍結路面（ブラックアイスバーン）**に注意
昼間に積もった雪が溶けたときや、雨が降った後の冷え込みが強くなる夜間や明け方は、一見すると濡れたアスファルト路面のように黒く見えるのに、実は表面が凍っているブラックアイスバーンになる可能性が高い。
- **猛吹雪や地吹雪**により、急に視界が悪くなる現象（ホワイトアウト）が発生する場合もあることを念頭に置きましょう。
ホワイトアウトでの運転は困難なので、ハザードランプを活用するなどして安全な場所に停車しましょう。
- **凍結、滑走**が予想される橋の上、トンネルの出口、カーブ、交差点、日陰部分などでは、手前で十分に減速しましょう。



帰社・帰宅時は気を引き締めて

! 日没時間が早くなっています。この時期は、毎年、会社に帰る途中や家路を急ぐ途中などに、自転車や歩行者の発見が遅れて、衝突する事故が多発しています。

運転者の中には、周囲が見えづらくなっても前照灯を点灯せず、前方が見えなくなっ
てはじめて点灯するケースが見られます。しかし、その段階では、他の車や歩行者が自
分の車の存在を認識するのが遅れたり、気付かずに行動するなどして、交通事故につな
がるおそれがあります。

事故を防止するために、前照灯を早めに点灯して速度を控えましょう

冬道の交通事故防止のポイント



冬道の安全運転1・2・3運動

1割 のスピードダウン

2倍 の車間距離

3分 早めの出発

冬道の走行時は、積雪、凍結等による滑走事故の多発が懸念されることから、安全な速度、車間距離の保持、早めの出発を実践・習慣化しましょう。

滑走事故防止3原則

急 ブレーキをかけない

急 ハンドルを切らない

急 加速しない

特に注意が必要な道路状況

いずれも凍結しやすいポイントです。危険な場所の手前であらかじめ減速しておくことが大切！

そのためには



ことが重要です



橋



カーブ



トンネル出口

出発前の注意点

- 窓ガラスが凍結したまま出発しない！
- ルーフやヘッドライト、ブレーキランプ、サイドミラーの雪も必ず除去！

この状態で安全運転できますか？



フロントガラスが凍結したまま



走行中にルーフの雪がフロントガラスに落ちてきたら…

バイク・自転車での外出は危険

積雪、凍結時、また降雪が予想される場合は、事故防止のため、バイクや自転車の利用を自粛しましょう。



車道を歩くのは危険

車道は、積雪等により車両が滑走してくるおそれがあり大変危険です。

積雪等で歩道が歩きにくい場合でも、車道を歩くのはやめましょう。

